

2016/11/15号

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内

食品公害を追放し安全な食べ物を求める会

TEL & FAX : 078-822-0810 第2FAX : 078-842-2430

■URL・http://www.motomerukai.com

■Email : info.motomerukai@gmail.com

求める会ニューズ No. 929

食料環境セミナー

「限界集落の再生の取り組みについて

— 宍粟市一宮町千町 —

NPO 法人ひょうご農業クラブ理事長

増田大成さん

10月26日(水) 10:30~12:00

講師の増田さんは、コープこうべを1999年に退職され(副理事長)、その後は有機農業者になり、同時に食を通しての地域福祉の活動をしてこられた。

求める会にとってもご縁のある方で、何年か前に相生市の畑を訪ねてお話を聞いたことがある。

増田さんのこの日のお話は、退職後にしてこられたいろいろの活動と、80歳にして(!)今年から加西市で新たに取り組みを始めた、11ha(ヘクタール)(!!)もの原野化した農作放棄地とその過疎集落の再生のモデルづくりについてであった。

1. 退職後の活動

- 有機農業
有機農業とは、生きものが生きものをつくること。農業がダメになったから農村に人がいなくなった。その逆ではない。有機農業で、農村に生命、環境、文化を取り戻して過疎地を再生したい。
- 販売事業
有機栽培した野菜を、相生市、六甲アイランドなどで販売している。市販品より安い値段に設定。
- 生産事業
乾燥もの(切干大根など)、発酵食品(漬物、ピクルス)、餅米菓など。本格的な加工食品を作らないと、と思う。
- 福祉事業
2003年より高齢者への給食配達と、高齢者向けの食堂(一部は野菜販売所)を始めた。食事をきちんと食べられるよう

にしないといけない人は、高齢者と、子どもと、病人だと考えている。

2. 農作放棄地とその過疎集落の再生のモデルづくり

場所：加西市栄町(通称青野ヶ原台地)

面積：11ha(うち農業地5ha)

事業内容：①直営農場3ha

②市民農園1ha

③施設1ha(ハウス栽培5棟、食品加工場、研修宿泊所、交流施設、倉庫、作業所、事務所)

この事業に関わるのは、増田さんが代表であるNPO法人ひょうご農業クラブ、地元の集落、加西市、株式会社上組。

増田さんの過疎地の再生への思いのきっかけは、2009年の春、宍粟市一宮町千町(せんちょう)という小集落との出会いから。標高700メートルのこの里山で、そこに入り込んでさまざまな体験を重ねているうちに、過疎地再生への気持ちが強くなり、決意と志が固まったとのこと。

その思いを「まるで山の神に拉致されたみたいに、自分のやらんといかんことが見えてきたのです」と表現された。「村が消える、ということは、その影響は町に及ぶこと」で、そのような大事な村をムザムザと放棄していいのだろうか、そのための責任ある組織が必要で、それを手掛けたいと話された。

増田さんは、「1999年から始めた農業者として到達した思いは、自信と誇りをもつ農業者、感謝、尊敬される農業者であること」だと、レジュメの最後に記しておられる。(鶴甲団地G 飛田みえ子)

次回食料環境セミナー

「日本型アグロエコロジーをどう考えるか？」愛媛大学大学院農学研究科准教授

日鷹一雅さん(於:神戸学生青年センター)

11月30日(水) 10:30~12:00 600円

「あしの会」に、来春から配送を依頼することになりました

Q. 野菜や、事業部の物品の配送をお願いするところが、代わるのでしょうか？

A. 「あしの会」に2017年4月から代わります。現在の協栄運輸には長年お世話になり、とくに運転手の芦田さんは会員の信望も厚く、淋しく思われる方も多いでしょうが、財務事情からやむをえない措置です。

Q. 財務事情って何ですか？

A. 現状の協栄運輸に依頼している配送費の赤字は月額 約¥13万前後で、「あしの会」にお願いすると赤字は大幅に減って月額 約¥2~3万でおさまる予定です。長い時間をかけて協議し、私たちは赤字対策を施す選択をしました。初期の混乱は予想されますが、あたたかく見守って協力し、軌道にのせましょう。



Q. 「あしの会」ってどんな会で、なぜ「あしの会」に依頼したのですか？

A. 「あしの会」については、今号のニュースに別紙で案内を同封していますので、目を通してください。会員は約600名で、生産者とのつながりを大事にしている会です。兵庫県有機農業研究会の会員で、そこで数年前にお互いの配送についての懸念を話したのが、配送委託の発端でした。その後2013年に一度検討しましたが見送られ、財政状況が更に厳しくなったこともあり、今回実現することになりました。

Q. 「あしの会」はなぜ協栄運輸より安く配送できるんですか？

A. 「あしの会」の自身の物品の配送ルートの中に、「求める会」の配送を含めることになるので、配送費が協栄運輸より安くなります。また現在、東地域で丹波乳業の牛乳とヨーグルトの配送を請け負っており、「求める会」のステーションに配送しています。



Q. これまでの協議結果は？

A. 対策を協議した過程で、物品の流通を「あしの会」に委託する案（D案）の賛成者が、多数を占めた事実を置き去りにしている訳ではありません。その案を詰めていくには途方もない時間がかかります。なぜならそれは、高齢化対策でもあり、活動しやすくするための案ですが、上乗せ会費が減るとい難題が生まれます。そのため、今回は配送委託のみとなりました。



Q. 上の「活動しやすくなる」活動って何ですか？ 今後の進め方は？

A. 今年度は「おいしいね！」シリーズで、若い世代に生産者とのつながりを大事にする消費者の在り方を伝える活動を展開しています。そういう活動も含めた現状の活動です。今後は、提携を大事にしたい志や、リンゴや豚肉や油を出来るだけ長くとり続けたい会員の希望を生かせる、物品の扱いの委託と財政の調整の話し合いを進めていくことになるでしょう。

(代表 大野 貞枝)

2016年度秋の地域集会報告

テーマ：土作りについて

兵庫・長田・北地域 10月24日（月）14：00～16：00、於熊野地域福祉センター

参加者：大野、池田（部員）・前川、陶木、寺沢（夢野町）・岡本（下山手）・松島（藤原台）・岡（西山）・明松、福島、藤木、花岡（都由乃町）

自己紹介のあと、収穫感謝祭の協力と内容についての説明、打ち合わせをしました。

次に秋の学習テーマの資料「土作りについてのお話し」の読み合わせをしました。土について私はここまで知らなかった。漠然とした知識のみでこのように整理されたものを読ませて頂き大変良かったと思います。自然農法という農法も知りませんでした。私達が頂いているのは有機農法で作られている野菜で、土に有機肥料をやり無農薬で作られたもの。自然農法は肥料を加えずその土地の土と自然のあるがままに、雑草も取らず天の意のままに作られており動物性の肥料はやらない。EM菌は乳酸菌に色々な物を混ぜて発酵させたもので市販のものには化学的なものもあるそうです。世の中がここまで進んでいるので完璧な自然農法は難しいかもしれませんが、どちらも大変手間と時間がかかります。有機農業と自然農法がうまく手を取り合うことは難しいのでしょうか。

求める会は食物だけを求めるのではなく、自然を守れなくなった時代に目を向け、今後も学習等を通して学んでいきたい（大野）。

次に大野さんから「あしの会」に配送を依頼することについての説明がありました。これについては今回の求める会ニュースで詳しくお知らせすることになるそうです。（都由乃町 G 花岡 桂子）

宝塚地域 10月25日（火）10：00～12：00 宝塚教会会議室にて

参加者：児玉、中川（中山）・信長、大森、福井、田中、武内、近藤、今田（逆瀬川）・大野（松浜、代表）・池田（松波、学習・研究担当）・岡（西山）、猪飼（川西町、以上会員担当）＝計13名

まず、収穫感謝祭について、岡さんからお話がありました。今年は東地域が食堂と受付担当。宝塚は前日および当日のお手伝いに人手を出すことになりました。岡さんから、即売で売るケーキやつくだ煮を作ってほしいとの申し出があり、信長さん、大森さんが、大豆ジャコ炒めを作ってくることになりました。

つぎに、地域集会の学習のテーマである「土作りについて」、池田さんが配布してくれた資料を順番に読んで話し合いました。堆肥の主な材料である草が、カルシウムなどのミネラル分を供給するなど、土作りに大切な役割を果たしていることがよくわかり、印象に残りました。

また、大野代表の「どの団体も配送費の赤字に苦勞している。あしの会に配送を委託することになったのは、求める会の理念である提携を続けていくためである」との説明を聞き、配送委託がうまくいくようにみんなで協力することを確認しました。（逆瀬川 G 今田裕子）

須磨・垂水・西区・明石・加古川・高砂地区 11月5日（土）10：00～12：00

アスパア明石7F あかし男女共同参画センター 会議室

参加者：田中（北須磨C）、奥山（桃山台）、高橋（ジェームス山）、嶋野（朝霧）、村川（大久保）、小原（加古川東）、藤原（高砂）、岡（会員担当）、大野（代表）

たくさん来られると期待していましたが、いつもよりずっと少ない9名の参加でした。11月26日（土）に迫った収穫感謝祭の働きについて、岡さんから説明があり、出してもらえる人の仕事の割り振りを相談。大野さんから、中庭を子どもの遊び場にしたらどうかとの提案、雨の場合どうするかなどの相談もありました。その後あしの会に配送を委託することになった経緯を分かりやすく説明。最後に学習テーマである「有機農業の土の話」を学習・研究担当の高橋さんが資料を読んで説明されました。家庭菜園で使っている肥料のこと、台所や洗濯で使っている石鹼・洗剤、水のことにも話が発展しました。（加古川東 G 小原 恵子）



第39回 収穫感謝祭 雨天決行 入場無料

2016年11月26日(土) 10:30~14:30

会場：神戸学生青年センター(駐車場なし)

楽しい催し物

★簡単ヨガ

(13:30~14:00)

★芥川清さんの陶器市

★フランクフルト



健康チェック

★骨密度・体脂肪測定

(10:30~12:30)

ろっこう医療生協

今年のテーマ

生産者と話そう！ーおいしいね！の素材(もと)を作る人に会ってみましょう

◆試食コーナーあり

提携している生産者のおいしい食材を食べてみよう(なくなり次第終了)

安全な食品・食材の即売

★野菜・果物・ハム・調味料

★手作りケーキ・佃煮・ふりかけなど

即売用のお菓子・ふりかけなどの製作をお願いします

食堂・喫茶・お茶席

★旬の野菜たっぷりの豚汁(有機米、漬物付)

★手作りケーキとコーヒーor紅茶

★おうすと手作り和菓子



資料

★有機農業の「土」の話

東地区：食堂・受付

西地区：喫茶・即売

辰巳茶生産者会議のご案内



2017年産茶に向けての生産者会議が開かれます。どなたでもお気軽に参加ください。

記

日時：11月27日(日) 11:00~15:00

場所：芦屋市民センター205号室

JR芦屋駅南口・阪急芦屋川駅より

徒歩10分弱(約500m)

○テーマ 「次代に繋げる辰巳茶」

○議題 ①新しい仲間の紹介

②自走式茶刈機「ななこ」導入とこれから

③その他

※参加される方は辰巳さんまでご連絡ください。昼食を準備していただきます。午後から参加される方は、13:30から茶話会があります。

☎ 0743-92-0916

Eメール：yokocha@ken.jp

野菜の通常配送

野菜の配送は11月15日(火)から通常配送になります。

食料環境セミナー

「日本型アグロエコロジーをどう考えるか？ー Agroecology と歩んだ三十三年間から」

11月30日(水) 10:30~12:00

愛媛大学大学院農学研究科

准教授 日鷹 一雅さん

会場：神戸学生青年センターホール

参加費：600円

※託児あり(無料) 前々日までに要予約

主催：(公財)神戸学生青年センター

ニュース訂正

ニュース928号(11/1号)3面下部、

高橋秀頭・マミご夫妻のお話の冒頭に、

10月29日(水)とありますが、10月19日(水)の間違いでした。お詫びして訂正

いたします。